

平成 25(2013)年度 基礎研究報告

■テーマ

豊中市の活力・魅力づくりに関する調査研究(Ⅲ)―

■研究報告書 要旨

各地で「地域ブランド」によるまちの活性化に向けた取り組みが進む中、本市においても「豊中ブランド」の確立が求められています。市のブランドづくりにおいては、地域の資源、地域らしさをもとにアイデンティティを定め、定着させていく必要があります。

平成 23 年度（2011 年度）、平成 24 年度（2012 年度）研究では、アンケート調査により、市民が認識している地域資源の把握に努めました。これを受け、最終年となる平成 25 年度（2013 年度）研究では、豊中市や他自治体の現在までの取り組みについてレビューするとともに、豊中市が活力・魅力づくりを行うにあたって、今後どのような取り組みを行っていけばよいかを提案しています。

■研究報告書 目次



- 第1章 はじめに
- 第2章 過去の調査研究の概要
- 第3章 特産品のない自治体のブランド化の取り組み
- 第4章 豊中ブランド化の取り組みについて
- 第5章 グループインタビュー
- 第6章 提言

(熊本)